

////

iDeCoで 老後資金の作り方

セルフキャリア育成協会



MONEY COACH
AOBA

自己紹介

マネーコーチあおば 1984.6.19 (40) ねずみ年・O型

2008年 旧北越銀行 入社

2021年 出産～育休

夫の退職、育休による収入減、住宅ローンの開始、
こども用品の支出増により、家計の大ピンチ！家計改善スタート！

この期間に初めて「銀行の外」の金融商品・サービスを知る。
そして気づいてしまう。

「うちの銀行の商品・サービスって、全然だめー！」

2023.4 仕事復帰するも、行内の商品をお客さまに提案したくない...
銀行の外でみんなが真に求める家計づくりを伝えたい！

2023.11 退職・独立



iDeCoってなに？

◆iDeCoってなに？

iDeCoとは「**個人型・確定拠出年金**」

年金（**老後資金**）を作るための
国の制度名です！

◆iDeCoってなに？

日本



公的年金だけじゃ老後むりやで！
税金お得にするからさ、
自分で年金つくってな！

◆iDeCoってなに？

特にフリーランスは・・・

会社員夫と合わせても20万円いくかどうか...
⇒今の生活費と比べて、どう？



◆iDeCoってなに？

ちなみに年金豆知識 フリーランス（国民年金の人）は【付加年金】マスト

●払い込むことになる保険料（例：40歳で加入）

月400円×240ヵ月（40～60歳まで20年）＝総額96,000円

●受給額

月200円×納付月数240ヵ月＝48,000円/年（月4,000円）

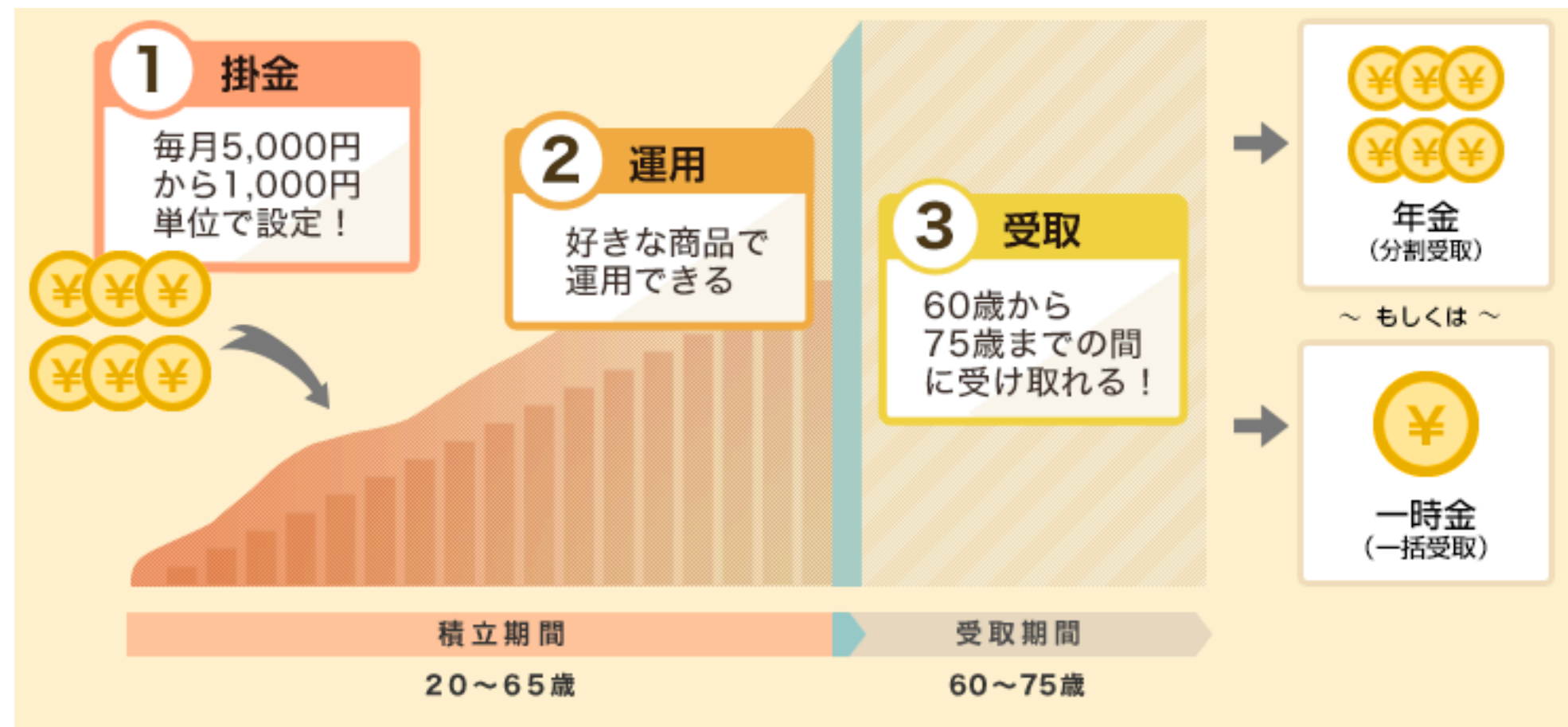
2年で元が取れる！

★もちろん国民年金保険料同様に「所得控除」される！

所得控除ってなに？...については後述♡

◆iDeCoってなに？

iDeCoで年金を作ろう！



iDeCo's
POINT

- ①税金お得に
- ②毎月積立で運用して
- ③公的年金の上乗せを作る！

出典：楽天証券HP

iDeCoの税制メリット

◆iDeCoの税制メリット

①積立時

②運用時

③受取時

iDeCoは3カ所
税金メリットあり



◆iDeCoの税制メリット

①積立時：これが一番のメリット
秘技！「全額所得控除」

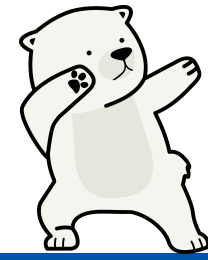
課税所得から

1年間の掛金の合計を引き算できる！

控除って「マイナス・引き算」ってこと



◆iDeCoの税制メリット



難しくないから
大丈夫！

①積立時：全額所得控除

税金＝課税所得×税率（かなりざっくり）

⇒税金を減らすために、課税所得を減らしたい！

課税所得：売上－経費－所得控除

◆iDeCoの税制メリット

①積立時：全額所得控除

課税所得：売上－経費－所得控除

課税所得を減らす方法

- ①売上を減らす：意味不明
- ②経費を増やす：手取りが減るだけ
- ③所得控除を増やす：積立で資産を増やししながら税金対策できる
(iDeCo)

◆iDeCoの税制メリット

①積立時：全額所得控除

課税所得：売上－経費－所得控除

1年間のiDeCo掛金総額は所得控除に該当！

月3万円×12ヵ月＝36万円も課税所得を減らせる！

そしてそのお金は老後のために積立している！

◆iDeCoの税制メリット

確定申告書のここ！

所得から差し引かれる金額	社会保険料控除	13						
	小規模企業共済等掛金控除	14						
	生命保険料控除	15						
	地震保険料控除	16						
	療養、ひとり親控除	17-18					0000	
	勤労学生、障害者控除	19					0000	
	配偶者控除	20					0000	
	扶養控除	21					0000	
	基礎控除	24					0000	
	⑬から⑳までの計	25						
	雑損控除	26						
	医療費控除	27						
	寄附金控除	28						
	合計 (25+26+27+28)	29						

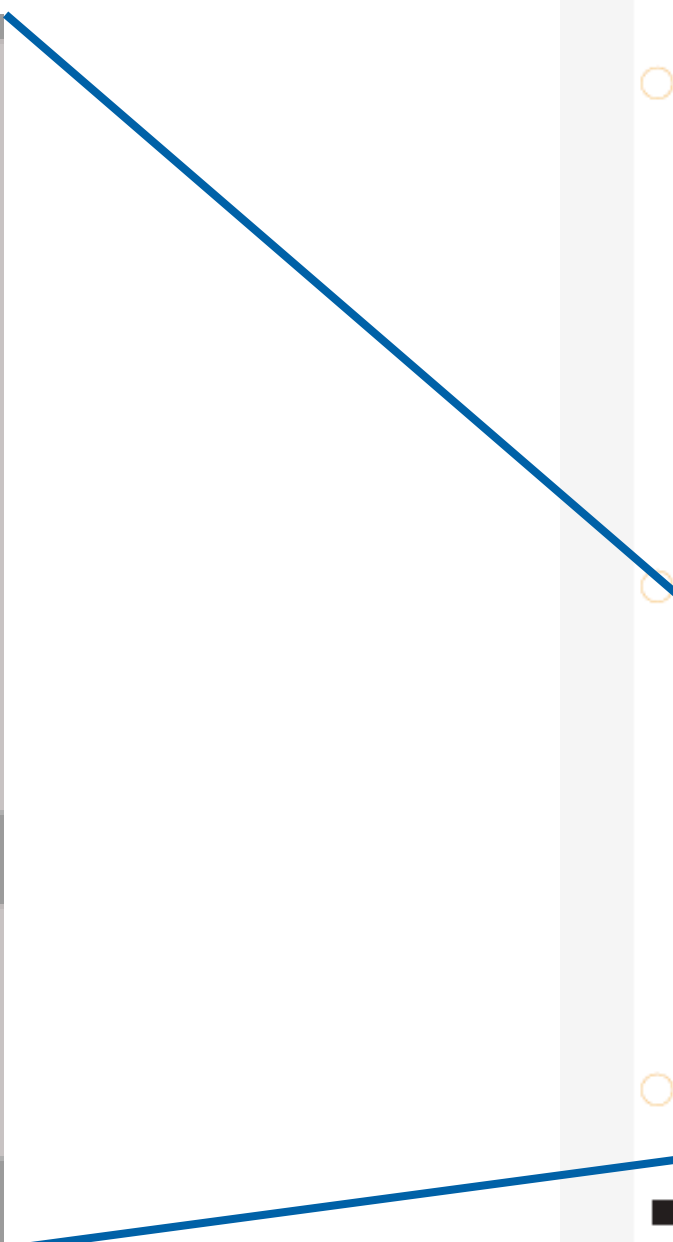
税務署長 令和 〇 年分の所得税及び復興特別所得税の申告書 FA2203

納税地 現在住所又は居所等

フリガナ 氏名

収入金額等	所得金額等	所得から差し引かれる金額	税金	計算	その他
事業所得 (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ) (カ)	事業所得 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	社会保険料控除 (13) 小規模企業共済等掛金控除 (14) 生命保険料控除 (15) 地震保険料控除 (16) 療養、ひとり親控除 (17-18) 勤労学生、障害者控除 (19) 配偶者控除 (20) 扶養控除 (21) 基礎控除 (24)	課税される所得金額 (30) 上記(30)に対する税額又は(31)の税額 (31) 配当控除 (32) 政治等寄附金等特別控除 (33) 住宅取得等特別控除 (34) 災害减免額 (35) 復興特別税額 (36) 源泉徴収税額 (37)	修正申告 (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65)	平均課税対象金額 (66) 延納額 (67)

注: ⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵



◆iDeCoの税制メリット

主な所得控除の種類

社会保険料控除（国民年金保険・国民健康保険）

生命保険料控除・寄付金控除（ふるさと納税）

基礎控除（48万円） ・ **小規模企業共済等掛金控除**

↑これがiDeCoの掛金

◆iDeCoの税制メリット

シミュレーション

出典：楽天証券HP



公務員
A子さんの場合

年齢	>	35歳
年収	>	500万円
毎月掛金	>	1万2,000円
全額年間所得控除	>	14.4万円

節税効果

1年で	2万8,800円
25年で	72万円



会社員
B男さんの場合

年齢	>	27歳
年収	>	650万円
毎月掛金	>	2万3,000円
全額年間所得控除	>	27.6万円

節税効果

1年で	8万2,800円
33年で	273万2,400円



自営業
C太さんの場合

年齢	>	43歳
年収	>	800万円
毎月掛金	>	6万8,000円
全額年間所得控除	>	81.6万円

節税効果

1年で	26万9,280円
17年で	457万7,760円

◆iDeCoの税制メリット

シミュレーション



<https://dc.rakuten-sec.co.jp/about/simulation/>

- 課税所得：300万円
- 毎月積立：3万円
- 積立期間：20年
- 年利回り：5% の場合



出典：楽天証券HP

◆iDeCoの税制メリット

②積立時：運用時（NISAと同じ）

利益が全額非課税



◆iDeCoの税制メリット

例) 資産運用で20万円の利益が出た場合

約**20%**の税金がかかる

税金約**4万円**

受け取れる
値上がり益

約**16万円**

課税口座
(特定口座・一般口座)

税金がかからないから
全額受け取れる

受け取れる
値上がり益

20万円

iDeCo & NISA

例) 100万円投資しました！利益は20万円です！

本来（特定口座）だと利益「20万円」に対して20.315%の税金がかかる。（預金利息も同じ）

税金は約**4万円**。利益で手元に残るのは16万円。

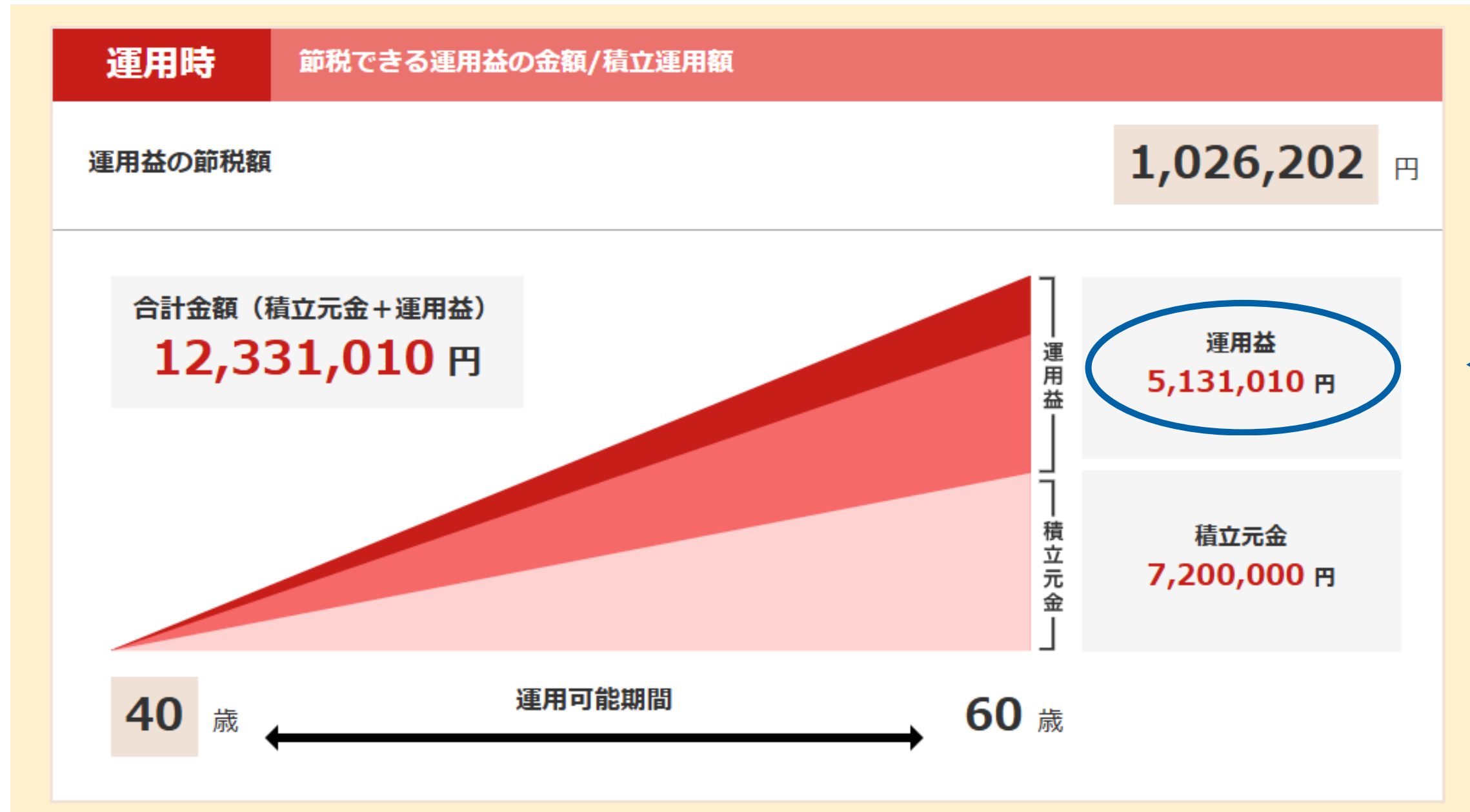


iDeCoは「非課税」税金**ゼロ**！

利益20万円はすべて手元に残ります！



◆iDeCoの税制メリット



◀ **ここが非課税!**
預金だと毎月3万円貯めても720万円にしかならないけれどiDeCoなら1,233万円に!
(正しい商品を選択すれば)

出典：楽天証券HP



◆iDeCoの税制メリット

③受取時：一定額まで非課税

出典：楽天証券HP

例

30年間積み立てて一時金で受け取り

60歳から年金で受け取り

他の退職所得と合算して

1,500万円まで非課税

公的年金と合算して

60万円まで非課税

ここは制度変更がありそうなので、
受け取るときの制度に合わせて上手に受け取るが吉！



iDeCo と NISA の違い

iDeCoもNISAも
老後のための資産形成



NISAやってればOK?

◆iDeCoとNISAの違い

主なポイントは3つ

		NISA	iDeCo	
税金	積立時	—	全額所得控除	1
	売却時	利益は非課税		
	受取時	—	退職所得控除・ 公的年金等の控除	
引出		いつでも可能	60歳まで引出不可	2
手数料		運用コストのみ	運用コストの他に 口座管理手数料がかかる	3



◆iDeCoとNISAの違い

主なポイントは3つ

		NISA	iDeCo
税金	積立時	—	全額所得控除
	売却時	利益は非課税	
	受取時	—	退職所得控除・ 公的年金等の控除
引出		いつでも可能	60歳まで引出不可
手数料		運用コストのみ	運用コストの他に 口座管理手数料がかかる

①：iDeCoならではのメリット♡

②

③



◆iDeCoとNISAの違い

②60歳まで引き出し不可：iDeCoのみ

60歳まで引き出しできないのが子育て世代には辛いところ...
教育費やら住宅資金やら、ライフイベントが多い。

これは絶対老後のため！と決めた金額はiDeCoがいい。

これからとりあえず資産形成はじめます！の人は
NISAが優先かな、と思います！



◆iDeCoとNISAの違い

③運用コストの他に事務手数料がかかる：iDeCoのみ。

①加入時の手数料：2,829円（国民年金基金連合会）

②掛金を拠出する人（積立する人）

支払先	手数料（月額）
国民年金基金連合会	105円
●●証券 （運営管理手数料）	0～589円
信託銀行	66円
合計	171～760円

◀差がありすぎ！
金融機関により異なるので注意！
ネット証券は0が多いかな

◆iDeCoとNISAの違い

手数料がかかったって、iDeCoがいい！

全額所得控除のパワーが大きすぎる♡

なので、
NISAで子どものための教育費積立のメドができたなら
iDeCoに全力投球したい！

でも、教育費よりも老後資金が実は優先なんだよね・・・

iDeCo掛金の上限

◆iDeCo掛金の上限

毎月の積立金額には上限があります！

	自営業者など 第1号 被保険者	月額 6万8,000円 [※] <small>※国民年金基金の掛金または国民年金の付加保険料と合算した金額です</small>
	会社員 第2号 被保険者	会社に企業年金がない 月額 2万3,000円
		企業型確定拠出年金のみ加入 月額 2万0,000円
		企業型確定拠出年金と厚生年金基金、確定給付企業年金に加入 月額 1万2,000円
		厚生年金基金、確定給付企業年金に加入 月額 1万2,000円
	公務員など 第2号 被保険者	月額 1万2,000円
	専業主婦（主夫）など 第3号 被保険者	月額 2万3,000円
	任意加入被保険者	月額 6万8,000円 [※] <small>※国民年金基金の掛金または国民年金の付加保険料と合算した金額です</small>

2024年12月～
上限2万円に変更

◆iDeCo掛金の上限

毎月の積立金額には上限があります！



 自営業者など
第1号 被保険者

月額 **6万8,000円**[※]

※国民年金基金の掛金または国民年金の付加保険料と合算した金額です

なぜ自営業者ばかり、掛金上限がこんなに多いの！？

それは...**国民年金の金額が少ないから！**

会社員・公務員は厚生年金・共済年金がある。退職金もある。

自営業者は自分で年金・退職金を作るしかない！

iDeCoを今すぐ
はじめたい！

◆iDeCoを今すぐはじめたい！

節税効果も積立金額もはやくはじめるほどメリットあり！今すぐGO！

①金融機関を選ぶ

ネット証券がおすすめ。手数料低い。

②口座開設をする

通帳はないよ！

③毎月の掛金を決める

5,000円からできるよ！

④運用商品を決める

定期預金は利息が少ないから×
毎月の手数料に負ける！
投資信託で運用しましょう！

⑤積立設定をする

ご清聴ありがとうございました！

みなさんが豊かな老後のための
資産形成をスタートできるよう
祈っています！

